

## 第 22 期事業報告書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

### 【公①：事業概要】

#### 事業 1 農業の企業化に資する支援事業

農業経営及び地域農業の企業化をサポートするため、企業化に関する知見やノウハウの蓄積、専門家や団体等と連携した相談・指導・情報提供等、必要な取り組みを支援した。また、農業者や農村が抱える諸問題の把握に努め、地域農業の持続的な発展を支援した。

##### (1) 農業経営力向上事業

企業化に向けた経営力の向上や経営マインド、チャレンジ意欲の機運醸成等、地域農業の企業化に向けた多様な取り組みに対し、一般社団法人北海道農業法人協会と共同で必要な支援を行った。

###### ①のぶし経営塾

開催日：2023 年 11 月 16 日～17 日

場 所：帯広市

テーマ：農業経理・財務集中講座

参加者：18 名

###### ②第 5 回次世代農業サミット

開催日：2023 年 12 月 18 日

場 所：札幌市

テーマ：安売りしない農業—生産者が考える適正価値—

参加者：102 名

###### ③農業法人経営セミナー2024

開催日：2024 年 2 月 21 日

場 所：札幌市

テーマ：これからの北海道農業が進むべき道

参加者：121 名

##### (2) 農業・農村ブランド化促進事業

商品開発、製造、販売などのノウハウの習得等の支援に努めるとともに、商品・企業の持つブランド力向上を図るために有効な、地域団体商標や GI 産品等の取り組みを促進した。

①蘭越米のブランド化に向け、「地域ブランド確立検討委員会」が設置され、HAL 財団から委員として就任。

ア) 地域団体商標の登録に向けた動き

i) 一般財団法人蘭越町観光物産協会が地域団体商標登録の特例事業主体になるためには、地域未来投資促進法に基づく町計画の策定が必要であり、それに向けた支援を行った。

ii) 地域未来投資促進法に基づき蘭越町が基本計画を策定、2023 年 6 月 23 日経済産業省の同意を得た。

イ) 2023 年 6 月 29 日に蘭越町内で発生した地熱開発の試掘における蒸気噴出について、農作物の風評被害対策などを検討するため、地域ブランド確立検討委員会に委員として出席した。

i) 第 1 回検討会

開催日：2023 年 8 月 25 日

場 所：蘭越町役場会議室

内 容：蒸気噴出の状況と経過、農産物の安全性、被害状況の報告、対策の方向性な

ど蘭越町からの報告後、必要な検討を行った。

ii) 第2回検討会

開催日：2023年9月5日

場 所：蘭越町役場会議室

内 容：前回の報告と対策の内容を受けて、町長への提言案の作成などを行った。

iii) 2023年10月6日 地域ブランド確立検討委員会による蘭越町長へ提言（文書）を行った。

(3) 食品安全及び環境保全普及啓発事業

農産物の安全や安心の確保はもとより、労働安全の観点に立ち、国際規格となっているGLOBAL.G.A.P制度の認証取得・維持を図る。そのために、制度の説明会等の普及啓発事業、フォロー事業を実施した。

①農業生産に関するGLOBAL.G.A.P（農業生産工程管理）及び特別栽培農産物の認証関連基盤整備

2011年から取り組みを始めた、農産物（食品）の安全、労働安全、環境保全を柱とする国際規格であるGLOBAL.G.A.P認証取得（グループ認証）を推進するとともに農業生産工程管理法を浸透、継続させるため、各生産者に内部検査を行った。

また、農産物に対しての信頼性をさらに高めるため、特別栽培農産物の第三者機関による認証審査を行った。

ア) GLOBAL.G.A.P 認証維持

内部検査の実施（内部検査員による管理点検と不適合箇所に対する是正依頼）

実施時期：2023年7月～9月

対 象 者：生産者63名、共同選果場5か所、選果・加工委託業者3社

イ) 第三者機関による認証審査

i) 更新審査

審査時期：2023年11月6日～10日

対 象 者：生産者62名（抽出審査対象：青果6名、穀類4名）、GAP事務局、共同選果場3か所、選果・加工委託業者1社

認証機関：テュフフードジャパン(株)

更新認定：2024年1月4日

生 産 者：55名 青果 50名：玉葱29名、馬鈴薯8名、南瓜8名、人参2名、すいか1名、メロン2名

穀類 12名；小麦8名、そば4名

（青果・穀類重複生産者4名、品目重複者3名あり）

共同選果場 5か所、選果・加工委託業者3社

ii) 年次生産者審査の実施

審査時期：2023年7月11日～14日

対 象 者：青果4名、穀類2名、GAP事務局、選果・加工委託業者1社

認証機関：テュフフードジャパン(株)

ウ) 講習会及び説明会の実施

i) GAP講習会の実施

GLOBAL.G.A.Pの基本的な考え方や農業者や産地がGAPを取り入れることのメリットなどについて説明した。

実施時期：2023年11月21日

内 容：新十津川農業高等学校授業の一環として実施した。

対 象 者：北海道新十津川農業高等学校

ii) GLOBAL.G.A.P新基準の説明会

2023年11月20日に公表されたGLOBAL.G.A.P 第6版日本語版について、第5.2版

からの変更点を確認、基準を達成する方法やリスク評価のやり方などについて説明会を行った。

実施時期：2024年1月24日

内 容：GLOBAL.G.A.P 第6版の基準説明

対 象 者：HAL プラスのメンバー、道内農業関連企業など

iii) 他、GLOBAL.G.A.P 認証生産者などに対する説明会を都度実施

## ②特別栽培農産物の第三者認証取得

ア) 審査時期：2023年6月14日、7月25日、8月4日

対 象 者：生産者 55 名

認証機関：公益財団法人北農会

認 定 日：2023年6月22日（メロン）、2023年7月11日（すいか）、  
2024年1月10日（玉葱、馬鈴薯、南瓜）

生 産 者：50 名（玉葱 23 名、馬鈴薯 9 名、南瓜 16 名、すいか 1 名、メロン 1 名）

## 事業2 地域農業に関する調査研究や農業情報の提供事業

北海道農業の安定的発展や企業的経営に資するため、専門的なノウハウやスキルを持つ組織・団体と連携して調査研究事業を行い、農業に係る政策や制度・地域連携・環境対応・海外進出等の情報を、財団が持つネットワークの機能を活用して広く提供した。

### (1) 地域農業に関する調査研究事業

地域農業の持続的発展や企業的農業経営を図る上で、必要な制度や地域情報の収集・調査・研究等を行った。

#### ①労働力確保対策に向けた法人設立に係る調査研究

留萌市と小平町の5戸の花き農家が将来の労働力不足に対応するため、花き生産の一部作業を受託する法人組織の業務体制や運営などの検討を行った。

調査日：2023年6月8日、2024年1月23日

場 所：留萌市、小平町

テーマ：花き生産における受託組織の設立検討

対応者：留萌市農家2戸、小平町農家3戸 JAるもい担当者

#### ②道内農業高校と連携した調査研究に向けた検討

調査日：2023年4月21日、7月13日、10月3日、2024年1月17日

場 所：静内農業高校（新ひだか町）

テーマ：農業の6次産業化、環境保全型農業、馬事文化の継承・発展

対応者：静内農業高校

### (2) 地域農業に関する情報提供

収集・調査・研究等により得た情報の活用を促すため、農業に関する政策・制度等の各種情報を提供する。提供方法はWEBサイトに集約しデジタル媒体での「WEB版ーHAL だより」「電子書籍」の形態など、普及している技術動向も見極めながら実施した。

#### ①HALGREEN 全道研修会（(株) HALGREEN への委託）

開催日：2024年1月24日

場 所：ホテルニューオータニイン札幌

参加者：農業者、農業関連企業ほか

内 容：GLOBAL.G.A.P 新基準説明、農業経営指標の注意点、農業会計、  
JA大分大山町組合長による講演会

### (3) 啓発普及事業

農業者の経営者意識向上を目指すために、一般社団法人北海道農業法人協会等とセミ

ナーを共催するとともに、自主的なセミナー、講演等を企画・開催した。

①主催事業

i) 新規就農者を対象としたセミナー

開催日：2023年11月10日

場 所：財団セミナールーム

参加者：鹿追町01農業塾研修会のメンバー9名

テーマ：GLOBAL.G.A.Pの説明と映画「大地の侍」上映セミナー

ii) 農業者と農業関連企業との討論会

開催日：2024年1月22日

場 所：かでの2.7

参加者：事例紹介者（スピーカー）、アドバイザー：14名 一般参加者 80名

運営 6名 合計 100名

テーマ「新しい農業のビジネスを考えるトークセッション」

②共催事業

事業1の(1) 農業経営力向上事業にて掲載

事業3 道民の希求と信頼に応える新たな事業の創出事業

道民の希求と信頼に応える新たな事業の創出に取り組むために、価値創造に資する事業を支援した。

(1) 農業や農村の持つ価値創造事業

農産物の価値や農業の持続性を高め地域農業の活性化を支援するため、公益財団法人はまなす財団と共同で事業を実施した。

①地域づくり活動発掘・支援事業（地域農業連携枠）

事業実施団体

(2021年度採択)

- ・NPO法人まおい学びのさと（長沼町）

目 的：地産地消と食育の推進と地域づくり活動

(2022年度採択)

- ・十勝有機・カバー クロップ環境保全促進グループ（幕別町）

目 的：100%オーガニック野菜を使った学校給食の普及推進

- ・縁の畑 共同販売グループ（長沼町）

目 的：自然農法など特色ある栽培を行うグループによる、共同販売体制の構築

(2023年度採択)

- ・ゆめせんか玉葱普及協議会（札幌市）

目 的：加工専用品種「ゆめせんか」の音更町での産地形成・ブランド化と

消費者等への情報発信

- ・やさいバス北海道協議会（札幌市）

目 的：やさいバス参加の農家が生産する農産物を使用した商品の開発・流通など

6次化の推進

事業4 農業や農村の歴史や文化への理解と共感を深めるための事業

北海道の基幹産業である農業への理解を深めるために、地域が有する産業の歴史や生活の歴史・文化を通して、地域の魅力、農業の持つ魅力・奥深さを多くの人に伝えていく事業を広く道内で展開した。

(1) 映画「大地の侍」上映セミナー

道内各地で「北海道開拓に係る講話」と映画「大地の侍」を組み合わせたセミナー上映会を開催。農業や農村に対する理解を広げるための取り組みを行った。

①上映セミナー実施状況

ア) 開催場所	札幌市ほか 12 市町 (累計 31 市町村)
イ) 上映セミナー開催回数	32 回 (累計 97 回)
ウ) 参加者延べ総数	1,303 人 (累計 3,913 人)

(2) 映画「大地の侍」DVD 贈呈

北海道開拓の歴史や農業に対する理解と共感のすそ野をさらに広げるため、全道 179 市町村等を対象に、業務使用許諾を得た DVD を贈呈した。

① 道内各市町村、特別協力団体向け DVD の贈呈状況

ア) 市町村用購入枚数	179 枚	配布数	10 枚 (累計 24 枚)
イ) 特別協力団体等用	20 枚	配布数	2 枚 (累計 5 枚)

(3) 北海道農業の潜在力発掘、探求、展開

北海道に暮らす人々の共感と敬愛の輪を育み、北海道農業が持っている潜在力を発掘し、すそ野を広げる事業について柔軟な発想で実施に向けた検討を行った。

① 小学校農業科導入促進に向けた取り組み

ア) 中村桂子氏講演会

開催日：2023 年 7 月 29 日

場 所：J R タワーホテル日航札幌

参加者：一般参加者 147 名

テーマ：教育の原点としての農業

イ) 喜多方市の「小学校農業科」に係る勉強会

開催日：2023 年 11 月 7 日～8 日

場 所：喜多方市役所会議室

参加者：美唄市教育委員会、北海道農業協同組合中央会、HAL 財団

テーマ：喜多方市小学校農業科の取り組み状況ほか

ウ) 喜多方市小学校農業科に学ぶ道内情報交流会

開催日：2024 年 1 月 31 日

場 所：HAL 財団セミナールーム

参加者：美唄市、剣淵町、滝上町、当別町、東川町、蘭越町、厚真町

北海道農業協同組合中央会、北海道庁農政部、空知総合振興局、HAL 財団

テーマ：喜多方市小学校農業科の経緯と取り組み状況について

事業 5 表彰事業

北海道農業の発展に多大な貢献、功績をあげた個人及び法人・団体を公募し、表彰することで、北海道農業を活性化し、農業の企業化を促進させることを目的に実施した。

(1) 「第 19 回 HAL 農業賞」表彰

① 選考

選考委員会を 2 回開催して、受賞者を決定した。

第 1 回選考委員会

開催日：2023 年 12 月 13 日 (水) 15:30～17:00

場 所：HAL 財団 セミナールーム

第 2 回選考委員会

開催日：2024 年 1 月 17 日 (水) 13:30～15:00

場 所：HAL 財団 セミナールーム

②選考委員会委員

委員長：一般財団法人 HAL 財団	理事長	磯田 憲一
委員：元北海道農政部長		竹林 孝 氏
札幌どうぶつ専門学校	副校長	石島 力 氏
一般財団法人 HAL 財団	常務理事	田尻 忠三
一般財団法人 HAL 財団	企画広報室長	上野 貴之

③受賞者

優秀賞	株式会社押谷ファーム（長沼町）	賞金 50 万円
優秀賞	桂農場（長沼町）	賞金 50 万円
優秀賞	有限会社ファーム田中屋（新篠津村）	賞金 50 万円

④贈呈式 2024 年 3 月 1 日（金） JR タワーホテル日航札幌にて開催

事業6 広報事業

従来、公益目的支出計画に基づき行っていた情報提供事業に加え、HAL 財団の事業全体を広く周知し、HAL 財団自体をさらに多くの農業者に知ってもらうための戦略的な広報事業を行った。提供方法は財団公式 WEB サイトを中心に「WEB 版 HAL だより」「電子書籍」、また「映像」の活用など技術動向も見極めながら有効な手段を適宜選択し機動的、戦略的に実施した。

WEB 版 HAL だより（テキスト版）公開状況

公開日	タイトル	号数
2023 年 4 月 14 日	書籍紹介 「おふくろの味」 幻想 ～誰が郷愁の味をつかったのか～	23-01
2023 年 4 月 26 日	「WEB 版 HAL だより」「HAL 財団動画」の利用について	23-02
2023 年 5 月 15 日	「4 年ぶりの完全開催「岩農グリーンフェア」	23-03
2023 年 5 月 16 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（1）	23-04
2023 年 5 月 23 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（2）	23-05
2023 年 5 月 30 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（3）	23-06
2023 年 6 月 6 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（4）	23-07
2023 年 6 月 13 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（5）	23-08
2023 年 6 月 20 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（6）	23-09
2023 年 6 月 26 日	講演会のお知らせ 中村桂子いのち愛づる生命誌講座（その2）「あなたが生きものであることを学ぶ農業」が開催されます	23-10
2023 年 6 月 27 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（7）	23-11
2023 年 7 月 4 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（8）	23-12
2023 年 7 月 11 日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦（9）	23-13

2023年7月18日	～短期集中レポート～ “農業で学ぶ” 小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦 (10)	23-14
2023年7月19日	事務所移転のお知らせ	23-15
2023年7月28日	『～短期集中レポート～“農業で学ぶ”小学校における「農業科」教育の道を拓く挑戦』を書籍にしました。	23-16
2023年8月22日	農業経営レポート “Seek out innovators” ～Part 2 : 『水が無い水田』の取組みの拡大版～	23-17
2023年9月5日	さとらんど「丘珠まるしえ」に行ってみた	23-18
		23-19は 欠番
2023年10月3日	エア・ウォーター「ふるさと応援H(英知)プログラム」 記者会見に磯田理事長が出席	23-20
2023年10月10日	アンビシャスファーム×どんぐり 収穫体験とパンづくり	23-21
2023年10月24日	もち米の里ふうれん特産館、ノースプレインファーム、滝上町を訪問しました。	23-22
2023年10月31日	<乞うご期待！> パリのマルシェから見た北海道農業との関わりの未来形	23-23
2023年11月7日	パリのマルシェと函館の朝市から思うこと	23-24
2023年11月14日	口福(こうふく)を販売する野菜直売所	23-25
2023年11月21日	生産者の手がける農園レストラン	23-26
2023年11月28日	書籍紹介「めざせ！ムシヨラン 三ツ星」 刑務所栄養士、今日も受刑者とクサクないメシ作ります	23-27
2023年12月5日	農業経営レポート “Seek out innovators” ～北海道での乾田直播取組の拡大～	23-28
2023年12月12日	アサヒバイオサイクル(株)の皆さんが来訪	23-29
2023年12月14日	年明け開催 決定！トークセッション第2弾 新しい農業のビジネスを考えるトークセッション	23-30
2023年12月14日	新しい農業のビジネスを考えるトークセッション 満員御礼	23-31
2023年12月19日	財団職員のコンプライアンス研修を行いました。	23-32
2023年12月26日	HAL財団 年末年始のご案内	23-33
2024年1月9日	第19回HAL農業賞選考中	23-34
2024年1月16日	書籍紹介 仕事の成果が上がる「自分ごと化」の法則	23-35
2024年1月23日	ご存知でしたか？ 小さな最中の大きな変化を！	23-36
2024年1月30日	HAL農業賞選考結果について(お知らせ)	23-37
2024年2月13日	2024年1月トークセッション開催	23-38
2024年2月20日	農業経営レポート “Seek out innovators” ～東海地域での『乾田直播』の取組み～	23-39
2024年2月27日	書籍紹介「幸せの条件」	23-40
2024年3月5日	第19回HAL農業賞贈呈式を開催	23-41
2024年3月12日	トークセッションの動画を公開します！	23-42
2024年3月19日	定例理事会・臨時評議員会を開催しました	23-43
2024年3月26日	新評議員、新理事人事	23-44

WEB版 HAL だより（動画版）公開状況

公開日	タイトル	備考
2023年5月11日	第18回 HAL 農業賞贈呈式（全編）	
2023年5月11日	第18回 HAL 農業賞贈呈式（CHAPTER1）	
2023年5月11日	第18回 HAL 農業賞贈呈式（CHAPTER2）	
2023年5月11日	第18回 HAL 農業賞贈呈式（CHAPTER3）	
2023年8月26日	いのち愛づる生命誌講座（その2）「教育の原点としての農業」	
2023年9月29日	エア・ウォーター「北海道ふるさと応援H（英知）プログラム」 発表記者会見模様	撮影・ 編集 自主
2023年9月29日	エア・ウォーターの森、ふるさと応援Hプログラム 記者会見 模様	撮影・ 編集 自主
2023年11月14日	WEB版 HAL だより「続く つなげる」五島軒で語る北海道農業 （全編）	
2023年11月14日	『五島軒ストーリー』	
2023年11月14日	『五島軒企業紹介』	
2023年11月14日	WEB版 HAL だより「続く つなげる」五島軒で語る北海道農業 （CHAPTER1）	
2023年11月14日	WEB版 HAL だより「続く つなげる」五島軒で語る北海道農業 （CHAPTER2）	
2023年11月14日	WEB版 HAL だより「続く つなげる」五島軒で語る北海道農業 （CHAPTER3）	
2023年11月21日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社嶋田茂農園匠 紹介動 画（全編）	
2023年11月21日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社嶋田茂農園匠 紹介動 画（CHAPTER1）	
2023年11月21日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社嶋田茂農園匠 紹介動 画（CHAPTER2）	
2023年11月21日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社嶋田茂農園匠 紹介動 画（CHAPTER3）	
2023年11月21日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社嶋田茂農園匠 紹介動 画（CHAPTER4）	
2023年11月28日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社宇野牧場 紹介動 画（全編）	
2023年11月28日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社宇野牧場 紹介動 画（CHAPTER1）	
2023年11月28日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社宇野牧場 紹介動 画（CHAPTER2）	
2023年11月28日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社宇野牧場 紹介動 画（CHAPTER3）	
2023年11月28日	第18回 HAL 農業賞 優秀賞 株式会社宇野牧場 紹介動 画（CHAPTER4）	